

平成30年(2018年)7月20日(金曜日) (20)

ごみ減量で「天下取り」

家庭ごみの減量を積極的に推進する「ごみ減量天下取り大作戦」のキックオフイベント＝浜松市南区の可美公園総合センター

浜松市が推進大会



家庭排出、政令市最少目指す

家庭ごみの減量を積極的に推進しようと浜松市は19日、「ごみ減量天下取り大作戦」のキックオフイベント「ごみ減量推進大会」を南区の可美公園総合センターで開いた。自治会と連携して2020年度までに、1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(㌔/人・日)が最も少ない政令指定都市を目指す。

(浜松総局・鈴木侑季)

市によると、16年度後の取り組みを確認した。鈴木伸幸副市長は「ごみを削減できれば、環境の負荷を軽減し、焼却費用を抑えることにもつながる。皆さんと一緒に目標を達成しよう」とあいさつした。

市内のイベントなどでごみ減量をアピールする「ごみ減量天下取り大使」に出世大名家康くんを任命した。県立大食品栄養科学部の新井映子教授による食品ロスとごみ減量をテーマにした講演も行われた。

市によると、16年度後の取り組みを確認した。鈴木伸幸副市長は「ごみを削減できれば、環境の負荷を軽減し、焼却費用を抑えることにもつながる。皆さんと一緒に目標を達成しよう」とあいさつした。

市内のイベントなどでごみ減量をアピールする「ごみ減量天下取り大使」に出世大名家康くんを任命した。県立大食品栄養科学部の新井映子教授による食品ロスとごみ減量をテーマにした講演も行われた。